

一材型速硬性ポリマーセメント

QTセメント

耐水性・接着性に優れたカチオン系高性能粉末樹脂を配合し、一材型で速硬性の特長を持つ、下地調整からタイル・石材の張付け可能なポリマーセメントです。

特 長

- 速硬性タイプです。(工期が短い場合の仕上げ工事や下地調整に適しています。)
- カチオン系樹脂により、強力な接着力を発現します。
- 既存のタイル下地への施工(タイルonタイル)が可能です。



標 準 使 用 量

QTセメント5kg/袋の標準水量と施工面積

用途	水量	施工面積	塗り厚(クシ目)
下地調整	1.15~1.30ℓ	0.8~3.7㎡	1~5mm
※石(300角以下)	1.15~1.25ℓ	1.0㎡	3~4mm
磁器タイル	1.15~1.25ℓ	1.0㎡	3~4mm
半磁器タイル	1.15~1.25ℓ	1.7㎡	3~4mm☆

※改良圧着張りとなります。

☆5mmのクシ目ゴテによる

性 能

項 目	試験結果	判定基準
保 水 率 (%)	90	80以上 95以下
単位容積質量(kg/ℓ)	1.81	1.80以上
接着強さ (N/mm ²)	標 準 時	2.0
	温冷繰返し10サイクル	1.98
長 さ 変 化 率 (%)	0.115	0.20以下
曲 げ 強 さ (N/mm ²)	8.46	8.0以上

施工方法

下地点検及び処理

モルタル・コンクリートブロック下地の場合

- ・下地の浮き・割れの無いことを確認して、あらかじめ脆弱な部分や浮いた箇所はハツリ除去して下さい。又、油・レイタンス・汚れは洗浄するなどして、よく清掃除去して下さい。
- ・欠損箇所、不陸部分は補修をして、平滑にして下さい。(5mm程度までの不陸であればQTセメントで補修できます。)

陶・磁器質タイル下地の場合

- ・既存タイルの打診検査を行い、下地として十分な強度があるか確認の上、部分的に弱い箇所や浮きはハツリ除去後、補修をして平滑にして下さい。
- ・既存タイル表面に付着した油・ホコリ・水垢等は、中性洗剤やクレンザー・サンダー等で取り除き、その後、ホコリが残らないよう十分に清掃して下さい。

QTセメントの塗付け

- ・下地がモルタル・コンクリート・ブロックの場合、プライマー処理が水湿しをしてから、QTセメントのシゴキ塗りをして下さい。次に、30～60分の生乾燥下地に、5分以内でタイルが張れる面積の範囲に3～4mm厚で塗付けて下さい。(室内で下地がタイルの場合は、シゴキ塗り後1～2時間を目安にして下さい。)

クシ目立て

- ・必要に応じて5mmのクシ目ゴテを使用し、タイルを張る直前に塗り面に垂直になるように、しっかり立ててクシ目を引いて下さい。外装タイル張りの場合は、接着強度の低下の原因となりますので、クシ目を立てないで下さい。

タイル・石の張付け

- ・クシ目立てをしたら、直ちにタイルをずらしながら、モミ込む感じで強く圧着して下さい。圧着張りはモザイク・床タイル・外装で小口平、内装で200角までとし、大型タイル、石(300角以下)は改良圧着張りとして下さい。タイルを張付ける際には、塗り付けたモルタルの表面を指でさわし、指先にモルタルが良く付くことを確認して下さい。張った後、タイル張り用衝動工具(ビブラート)や叩き板等で、十分に叩き込んで下さい。オープンタイムは5分以内を最大限として下さい。5分を経過した場合や皮バリを生じた時は、掻き落とし、再度塗り直して下さい。時々、一定間隔(1.5～2㎡に一回)でタイルを剥がし、裏面のQTセメントの付き具合を確認して下さい。

目地処理

- ・QTセメントの硬化を見計らい、タイルが動かない事を確認した後に、目地さらえ、及び目地の清掃を行って下さい。タイル張付けから90分で目地詰め施工が出来ます。

荷姿

5kg×4袋／箱

注意事項

【使用上の注意】

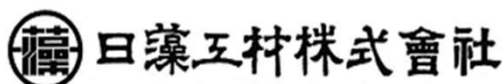
- 吸水調整処理がしてある半磁器ユニットタイルは皮膜に敏感です。1回の塗付け、クシ目引き、張付けを4ユニットに留め、ずらしながらのモミ込み張りを厳守して下さい。
- 石材の種類によっては、表面にセメントのエフロが浮き出ることがあります。プライマーによる裏面処理を施して下さい。
- 直射日光や、風当たりの激しい場所での施工はオープンタイムが短くなります。シートを張る等の必要な養生をして下さい。
- 目地直しはQTセメントが軟らかいうちに行い、硬く締まってからは掻きとって再度貼り直して下さい。
- QTセメントに保水剤・防凍剤・エマルジョン等の混和剤や他のタイルセメントを混入して使用しないで下さい。
- 取扱場所及び作業場所は換気を行い又、施工後も通常の換気を行って下さい。直射日光の当たらない屋内に保管して下さい。
- 海・河川・下水道を汚染する可能性の有る場所には、残材や洗いを捨てないで下さい。
- 気温5℃以下での施工は避けて下さい。

【取り扱い上の注意】

- 吸い込んだ場合はうがい洗浄して下さい。
- 目や口に入った場合には直ぐ水で最低15分間洗い流した後、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は、直ちに多量の水を飲み、吐き出した後、医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、付着した部分を水で洗い流し、状況に応じ医師の診断を受けて下さい。
- 使用目的以外には使用しないで下さい。

◆本カタログの記載内容は予告なしに仕様や記載内容を変更する場合がありますのでご了承下さい。

◆本カタログ記載の内容(性能、データ等)は作成時点での弊社実験での測定値であり、実際の現場での数値、性能を保証するものではありません。



〒174-0043 東京都板橋区坂下2-13-18

TEL.03(5392)1007(代) FAX.03(5392)1023

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	2112005
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/